路地百選推薦書【No.１９８】

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	鎌倉　北鎌倉駅周辺の小路
所在地	神奈川県鎌倉市山ノ内

【推薦する理由（路地のよいところ）】

北鎌倉駅正面の信号を渡って、交番の脇を入ると幅半間程度の「おちゃぶきさま」と呼ばれる石塔のある路地である。「おちゃぶきさま」はせき止めに効果のある神様のようだ。沿道には四つ目垣が回らされている。横須賀線は小袋谷川沿いの谷地を走っており、両側には急斜面が迫っている。この急斜面沿いに坂や階段で路地が回っている。

この路地を歩いていると、閑静な住宅街を歩いていたかと思うと、うっそうとした森の中に吸い込まれ、寺院等の開けた空間が突然現れ、谷地を見下ろせるなど、思いがけない景観の変化を味わえる。

【写真添付】

竹垣の路地

崖地を貫くトンネル路地

右手がおちゃぶき様

横須賀線北側の斜面路地

おちゃぶき様の路

斜面住宅地からの階段

路地のまちの概要	面積	約　　ｈａ	路地の延長	約　　m
	まちの成り立ち、特色等	源頼義（八幡太郎義家の父、頼朝の五代前）が相模守となり、「前九年の役」後、源氏の守り神である京都の「石清水八幡宮」を「由比郷鶴岡」に勧請した（現在、材木座にある「元八幡」（由比若宮））。三方を山に囲まれ、南に海が広がる天然の要害として、後に鎌倉幕府が置かれた。鎌倉幕府滅亡後も鎌倉公方などがおかれ、その補佐関東管領である山之内上杉などが戦国時代まで続くことになる。山之内や扇ガ谷（おうぎがやつ）は鎌倉の地名として現在も残っている。 鎌倉は平地が狭く、平地を有効に活用するように狭い路地が縦横に回っているとともに、周囲の斜面地にも伸びている。鎌倉は太平洋戦争において京都・奈良と同様に空襲をほとんど受けなかったことから、神社仏閣などの古い建物とともにこれらの路地が多く残っている。		